

法人（事業所）理念		・ご利用のお客様の信頼と安心を第一にします。 ・障がいのある方々のくらしをお手伝いします。 ・やる気と工夫で福祉の仕事を広げます。								
支援方針		（単独）	・生活に見通しを持ち、身の回りのことを自分でする意欲を育てます。 ・集団生活の中で簡単な決まりを知り職員や友達との関係を広げます。 ・遊びを通して、情緒の安定を図り、物・人への興味関心、創造性を育てます。 ・全身を使って遊び、運動能力や感覚を育てます。							
		（親子）	・お子様と保護者の方が一緒に通園し、小集団の中で遊びを通して運動やコミュニケーションの基礎的な力を育てていきます。 ・保護者と職員で「目標」を立て、幼児に適した遊び、また困ったことへの対処の仕方等について一緒に考えていきます。 ・保護者の方々の情報交換の場、および交流の場を提供します。							
営業時間		8 時	45 分	から	17 時	15 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	（単独）	・基本的な生活習慣（食事、排泄、更衣等）が身につくように方法ややり方を工夫し、丁寧に伝えます。 ・少しずつ手伝いを減らしていき、自分でできる部分を増やしていきながら、自分でしようとする気持ちを育てます。 ・自分でできた時にたくさん褒めて自信につなげ、身辺自立の土台を育てます。 ＊お子さまの健康状態の把握や感染症対策をしながら、継続した通園ができるようにし、生活スキルの獲得を促します。							
		（親子）	・生活リズムの安定を図り健康に過ごします。保護者と一緒に健康状態や必要な医療的ケアなどについて情報を共有します。 ・食事（給食）・排泄・衣服の着脱等個々の状態を把握し、日常生活動作を身につけられるように支援を行います。							
	運動・感覚	（単独）	・運動や遊びの中で体を動かす機会を設け、様々な体の動きが経験できるようにします。 ・様々な運動遊びを保育に取り入れて、ボディイメージや運動機能の発達を図ります。 ・自由遊びや設定保育の中で、保育者や友だちと一緒に身体を動かすことを楽しむ機会を作ります。 ＊遊具・教具の工夫をし、お子さまが意欲的に身体を動かす機会を作ること、感覚や姿勢、運動、動作の向上ができるようにします。							
		（親子）	・運動遊びや遊具遊び、製作や手指遊びを通して自分の体や手指の使い方を身につけ、姿勢、運動、動作の基本的技能の向上を目指します。 ・一人ひとりの感覚の特性を踏まえて、感触（粘土やスライム等）遊び等の遊びを提供します。							
	認知・行動	（単独）	・毎日のルーティンと同じにして繰り返し経験できるようにしたり、集団生活の流れに見通しを持ちやすくします。 ・生活や遊びの中で、ルールや順番を守ることを繰り返し経験できるようにします。 ・必要な決まりごとを分かりやすく伝えていき、見通しをもって集団活動を楽しめるようにします。 ＊見てわかる教具・興味を高める教具を工夫し、空間・時間・数等の概念形成や認知の発達を促します。また自発的・適切な行動を増やします。 ＊特性から生じる困り感に対して個々に合わせた適切な支援や環境調整を行い、行動障害の予防を図ります。							
		（親子）	・「見る・聞く・触る」等を五感を意識した遊びや絵本、歌を通して、環境から情報を修得し、行動につなげる認知機能の発達を促します。 ・「色・大きさ・形」「始まりと終わりなど時間を意識した活動」等認知・行動の手がかりとなるように体験活動を通して、概念を形成していきます。 ・一人ひとりの認知の特性に合わせて、情報をわかりやすく工夫し、適切な行動につなげられるように支援します。							
	言語 コミュニケーション	（単独）	・自由遊びや設定保育を通して好きな遊びや活動を見つけていき、保育者に要求を伝える意欲を育てます。 ・伝えやすいコミュニケーション手段の獲得を援助し、保育者や友だちに伝える機会を設けていきます。 ・生活や遊びの中で職員や友だちと楽しくやりとりをする機会を作り、コミュニケーションの意欲を育てていきます。 ＊見てわかる教具の工夫や伝えたいと思えるもの・人などの環境作りをし、理解や表出の発達を促します。							
		（親子）	・「楽しい」「もう一度やりたい」という気持ちを引き出せるような手遊びや設定課題を提供し、「自分の気持ちを伝えたい」というコミュニケーション意欲を育てます。 ・音声言語と意味を結び付けられるように伝え方の工夫を行い、自発的な発声を促す支援を行います。 ・指差しや身振り、実物や写真カード・絵カード等を用いた表出方法を活用し表現方法を引き出します。							

	人間関係 社会性	(単独)	・好きな遊びを通して、保育者が意図的に遊びを共有し人と遊ぶ楽しさを知るきっかけを作っていきます。 ・生活や遊びの中で、保育者が間に入りながら、友達と一緒に遊んだり関わりを持ったりする経験につなげていきます。 ・簡単なルールのある遊びを保育に取り入れ、保育者や友だちとルールを守って楽しく遊ぶ機会を設けます。 ・成功体験や認められる経験により自信を持って周囲の人と関わることや、意欲的な活動への参加を促します。 *大人との関わりの中で、受け止め、認められる経験ができるようにし、周囲の人やともだちなど身近な人との関わりや集団参加を促します。			
		(親子)	・親子遊びやふれあい遊びを通して、人との関係を意識し、身近な人との信頼関係を築けるよう環境を設定します。 ・リズム遊びや集まり、簡単なルールのある遊び等の体験を通して集団参加を促し、社会性の発達を促す支援を行います。 ・大人が気持ちを汲み取り、代弁することにより、気持ちや情動の調整を大人と一緒にに行います。			
家族支援	(単独)	・個別面談の機会や連絡帳の活用等を通して、情報を共有し、具体的な支援内容について協議・決定します。 ・学習会を実施し、お子さまとの関わり方や福祉制度、就学等に関する情報提供を行います。また、保護者同士の交流の場を設けます。		移行支援	(単独)	・園と保護者の希望に応じ、東部療育センターの協力のもと、園連携や訪問支援を行います。 ・保護者と協力して、就学先の学校等に向けたサポートブックを作成します。
	(親子)	・日々の支援場面や面談等の機会を通じて、家族がお子様について理解し安心して子育てができるよう、相談支援を行います。 ・学習会を実施し、お子さまとの関わり方や福祉制度、就学等に関する情報提供を行います。また、保護者同士の交流の場を設けます。			(親子)	
地域支援・地域連携	(単独)	・通っている幼稚園・保育園と連携し、支援内容を共有し、園生活に活かせるよう支援します。		職員の質の向上	(単独)	・東部療育センターの協力のもと、定期的にOJTを実施するとともに、療育や障がいに関する専門的な研修、メンタルヘルスや虐待防止、接遇などの各種研修を計画的に実施し、職員の質の向上を図ります。 ・その他療育に関するスーパーバイズを受け、療育の質の向上に努めます。
	(親子)				(親子)	
主な行事等		新規契約時オリエンテーション、個別面談、各種学習会（「就学について」、「先輩保護者の話」、「余暇活動について」、「手指操作について」、「視覚支援について」「コミュニケーションについて」など）やクラス懇談、避難訓練、お別れ会などを行っています。				